

純正 フットランプ

取 付（取 扱）説 明 書

適用車種：RX-8

部品番号：F151 V7 050

この度は純正用品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

取付け作業を開始する前に、本書を必ず読んでください。

常に最良の状態で安全にご使用頂くために、本書をよくお読み頂き、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。

<ご注意とお願い>

- 本書に示されている△警告と△注意マークは、取付け、取扱いに関する安全上の注意事項ですので、必ず厳守してください。
 - △ 警告：警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。
 - △ 注意：注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷したりするなどのおそれがあります。
- 本書に記載されていない取付け、使用方法是絶対に行わないでください。
- 本商品を改造しての取付けは、絶対に行わないでください。
- 作業の安全性と信頼性確保のため、取付け・取外し・廃却の作業は、必ずマツダ販売店にて実施してください。
- 本商品の取付け、取扱い内容につきまして、ご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせください。
- 記載事項を守らなかった為に発生した不具合につきましては、マツダ株式会社／マツダ販売店（特約店）は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取外した部品の紛失や傷つき、脂などの異物付着がないよう、十分注意してください。

取付け販売店の方へ

- 取付け完了後、本書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へ

- 本書は、他の用品装着時に必要となる場合がありますので取付け完了後も大切に保管してください。
- 本商品を他のお客様にお譲りになる場合は、必ず本書もあわせてお渡しください。

マツダ株式会社


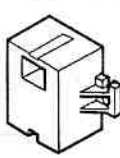



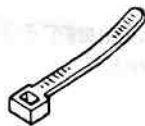

広島県安芸郡府中町新地 3-1

1. 構成部品

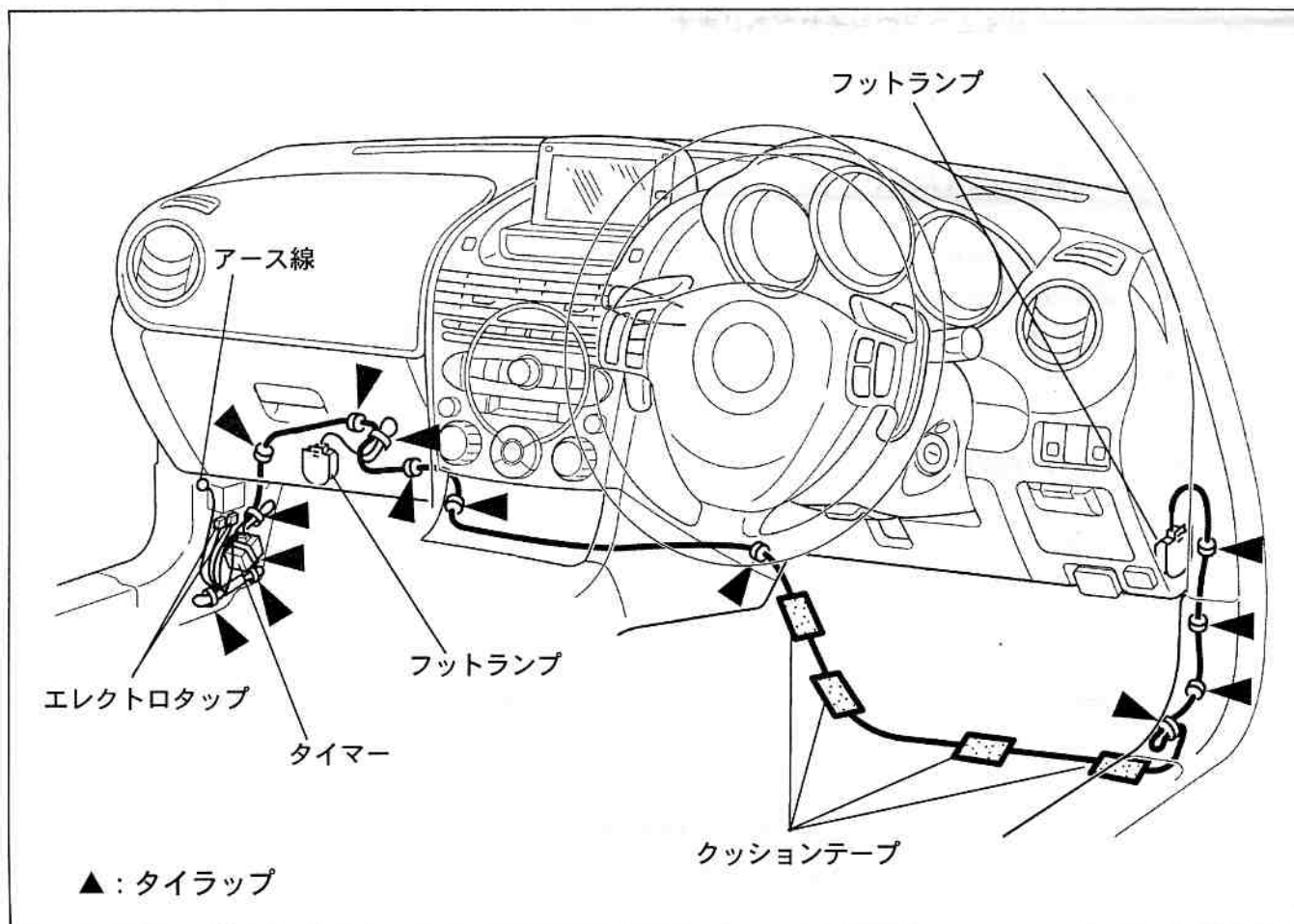
▼キット一覧

△ 注意

- 構成部品がそろっているか、また汚れ、傷、損傷がないか確認してください。

部 品	名 称	数 量	部 品	名 称	数 量	部 品	名 称	数 量
	①ハーネス (ランプ付)	1		②タイマー	1		③エレクトロ タップ	2
	④両面テープ	2		⑤クッション テープ	5		⑥タイラップ	14
	⑦取付 (取扱) 説明書、 架装点検 シート	各 1						

▼構成図



2. 取付け作業前の確認事項

使用工具

☆ソケットレンチ (10mm)

☆プラスドライバー

☆プライヤー

☆針金

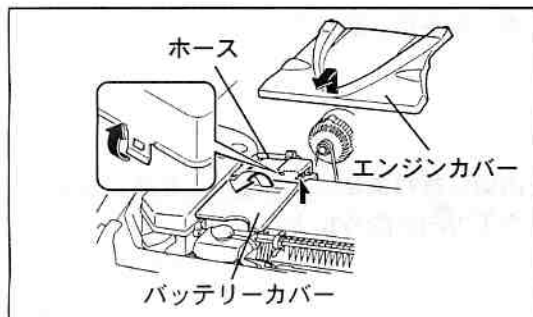
☆ファスナーリムーバー

☆工業用アルコール

☆ビニールテープ

☆ニッパー

バッテリーカバーの取外し方法



1. エンジンカバーを取外します。
2. ホースをバッテリーカバーから取外します。
3. バッテリーカバーを後方から持ち上げて取外します。

警告

<p>バッテリーの(－)ターミナルを切り離して作業を行ってください。その際は、(－)ターミナルから十分離してください。作業中のショート事故による感電やケガの原因となります。</p>	<p>ハーネスは無理に引っ張らないでください。断線やショートによる事故や、感電、火災の原因となります。</p>	<p>コネクタの切り離し／接続はコネクタ本体を持って確実に行ってください。断線や接触不良による事故、火災の原因となります。</p>	<p>ハーネスがブラブラしないように付属のバンド等で固定してください。断線やショートによる事故や感電、火災の原因となります。</p>

注意

<p>取外した部品／キット部品は傷を付けないように保護シート等の上に置いてください。</p>	<p>寸法及び使用目的に合った工具を使用して作業を行ってください。部品を破損する原因となります。</p>	<p>車両部品の取外し／取付けを行う際には、プロテクターやマットを使用してください。車両に傷や汚れが付く恐れがあります。</p>	<p>余分なバンドはニッパー等で切り取ってください。他部品との干渉により故障の原因になります。</p>

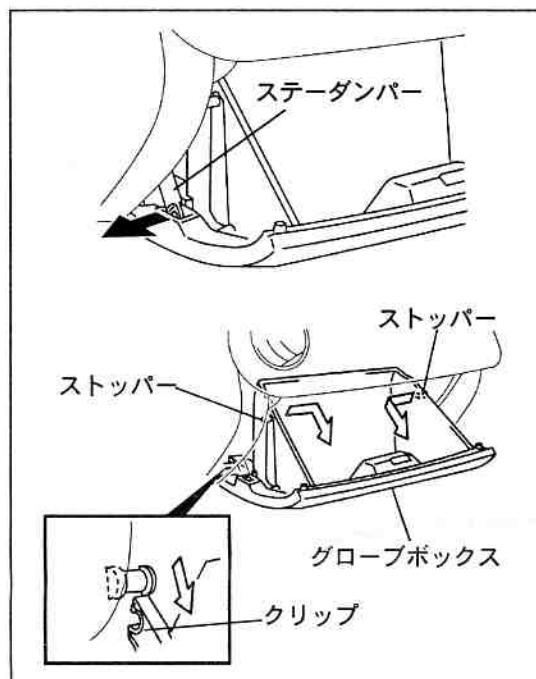
警告

- 車両は平坦な場所に止め、サイドブレーキをしっかりと引き、輪止めをセットして作業を行ってください。作業中に動き出し、ケガの原因となります。

参考

- バッテリーの(－)ターミナルを切り離すと、クロック、ラジオ、トリップメーターなどのメモリーが消去されますので、作業前に各メモリー内容を記録してください。

3. 車両部品の取外し

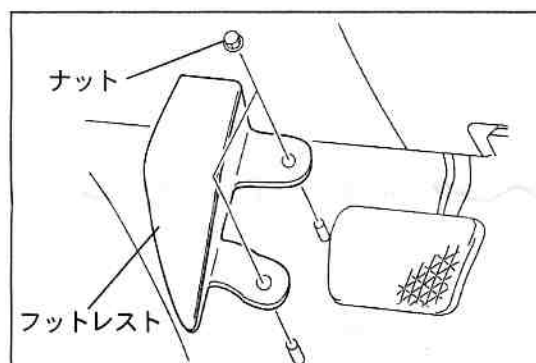


⚠ 注意

- 取外した部品は再使用しますので、傷をつけたり、紛失しないように十分注意してください。

グローブボックスの取外し

- ステアダンパーを矢印の方向へ引っ張り、グローブボックスとステアダンパーの勘合部を切り離します。
- ストッパー部分を内側にたわませ、ストッパーを外します。
- グローブボックスを下方向に降ろします。
- インストルメントパネルからクリップを外し、グローブボックスを取外します。

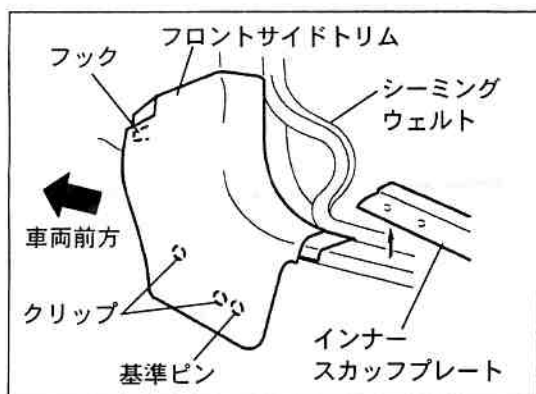


フットレストの取外し

- ナット2個を外し、フットレストを取外します。

参考

- ナットの締付けトルク：2.45～3.53 N・m（部品復旧時）

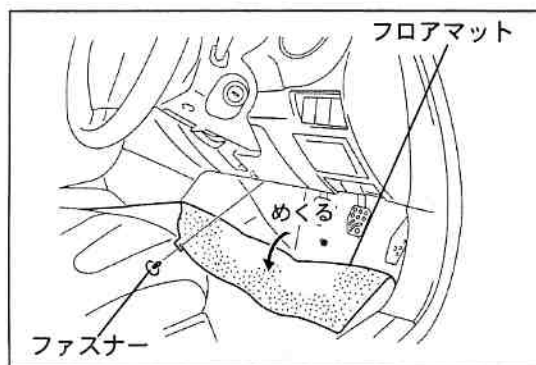


フロントサイドトリム（左右）の取外し

- インナースカッププレート前部のクリップを外します。
- フロントサイドトリムに干渉している部分のシーミングウェルトをめくります。
- フロントサイドトリムを車両内側に引っ張り、クリップをボデーから外します。
- フロントサイドトリムを車両後方に引っ張り、フックを外します。

参考

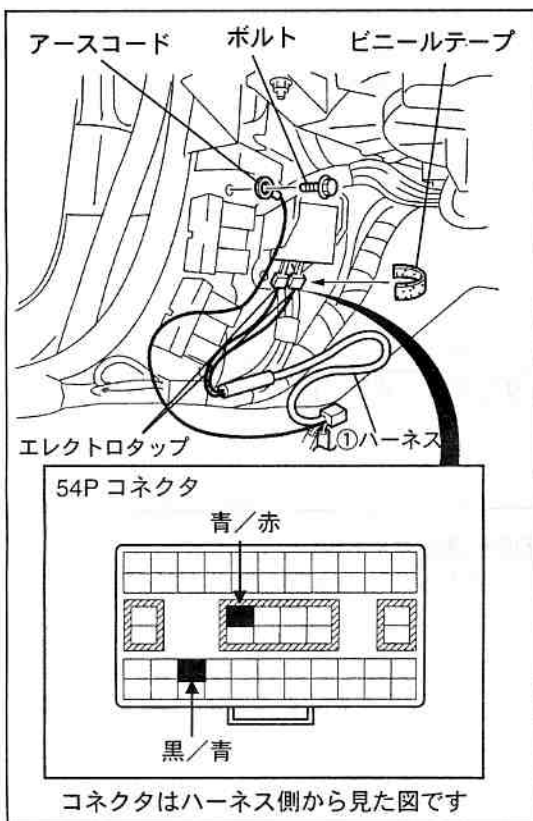
- 図は右側ですが、左側も同様に作業を行ってください。



フロアマット（運転席側）

- フロアマットのファスナー（1個）を外し、フロアマットをめくります。

4. フットランプの取付け



ハーネスの接続

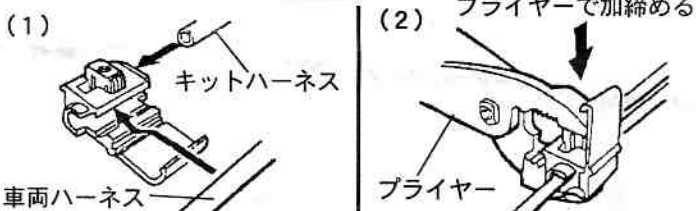
- ①ハーネスの丸端子（アースコード）を図示の車両ボルトに共締めします。

締付トルク：7.8～10.8 N・m

- ①ハーネスの青／赤コードと黒／青コードを図示の54Pコネクタに③エレクトロタップで接続します。

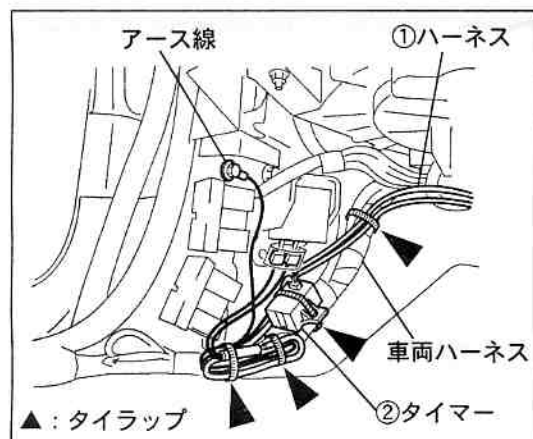
ハーネスコード色	接続先コード色	信号
青／赤	青／赤	+B
黒／青	黒／青	ドア SW

エレクトロタップの接続方法



△ 注意

- 接続後は、ビニールテープでエレクトロタップ部を巻いてください。



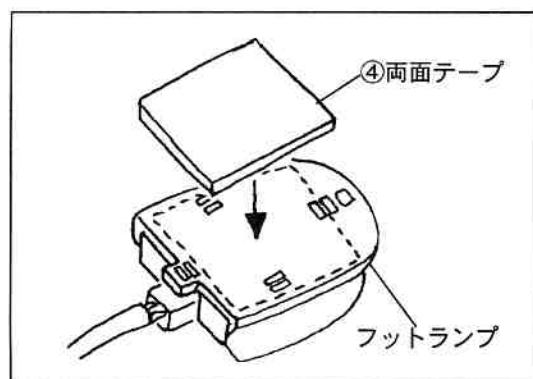
タイマーの取付け

- ハーネスの5Pコネクタを②タイマーに接続します。
- ②タイマーの丸穴に⑥タイラップを通し、②タイマーを車両ハーネスに⑥タイラップで結束します。

参考

- タイマーの丸穴にタイラップが通りにくい場合は、丸穴をヤスリ等で広げてください。

- ①ハーネスを図のように束ね、⑥タイラップで3箇所結束します。

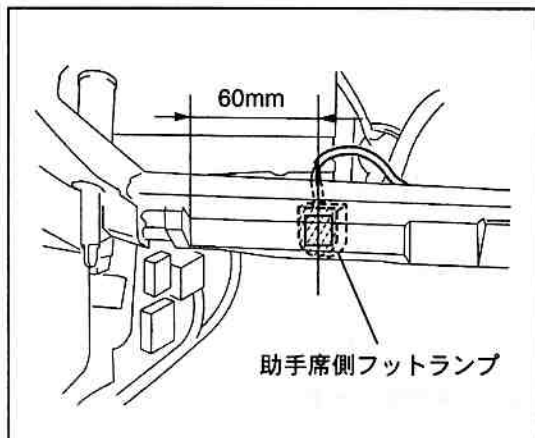


両面テープの貼り付け

- フットランプ（運転席側、助手席側）の裏に④両面テープを貼り付けます。

△ 注意

- 両面テープ貼り付け部を工業用アルコールで脱脂してください。



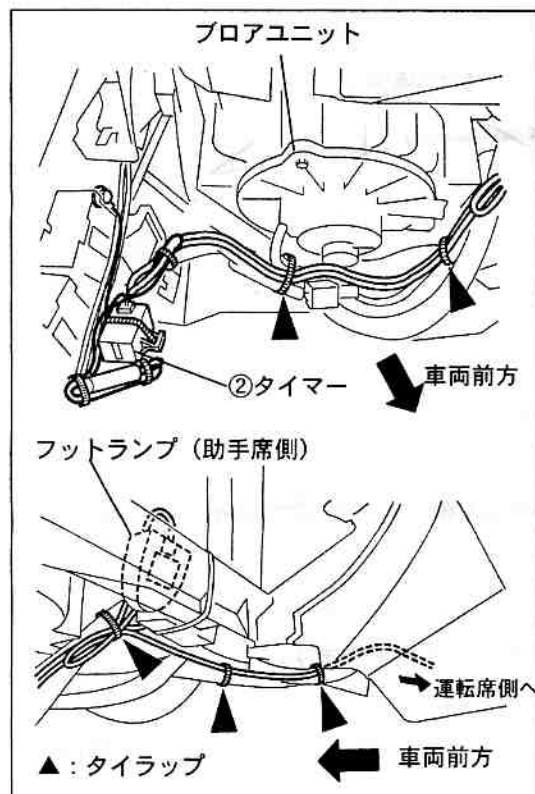
助手席側フットランプの取付け

ランプハーネスの短い方を使用します。

1. 図示の位置に裏側からフットランプを貼り付けます。

⚠ 注意

- 接着部は工業用アルコールで脱脂してください。



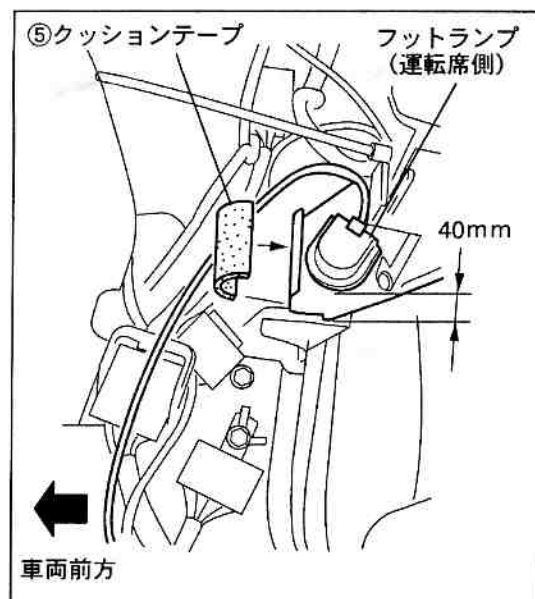
ランプハーネスの長い方を使用します。

2. 運転席側のフットランプをセンターコンソールの裏を通し、運転席側に導きます。

参考

- ハーネスが運転席側へ通りにくい場合は、フットランプのレンズを外し、針金を使用してハーネスを通してください。

3. ①ハーネスを車両ハーネスに⑥タイラップ (5本) で結束します。このとき助手席側フットランプの余ったハーネスも束ねて一緒に結束してください。

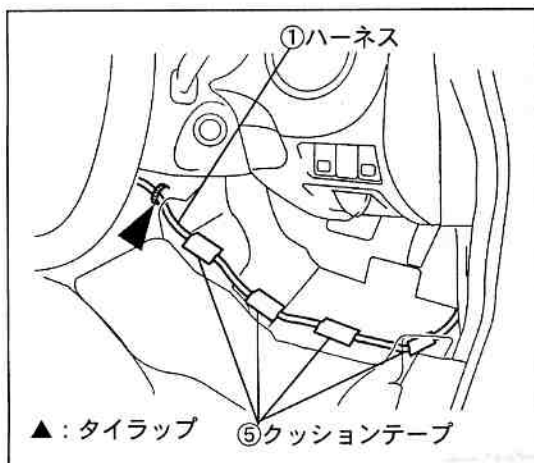


運転席側フットランプの取付け

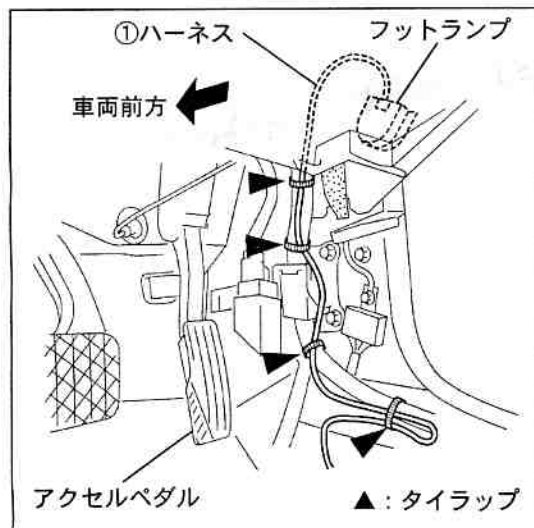
1. 車両ブラケットのエッジ部に⑤クッションテープを巻きます。
2. 図示の位置にフットランプを貼り付けます。

⚠ 注意

- 接着部は工業用アルコールで脱脂してください。
- バルブ交換の際にレンズが取外せるよう、フットランプ両サイドに指の入るスペースをあけて取付けてください。



3. ①ハーネスを車両ハーネスに⑥タイラップ（1本）で結束します。
4. ①ハーネスをフロアパネルに⑤クッションテープ（4枚）で固定します。



5. ①ハーネスを車両ハーネスに⑥タイラップ（4本）で結束します。このとき余ったハーネスも束ねて一緒に結束してください。

5. 作動確認

1. バッテリーの（－）ターミナルを接続します。
 2. ドアを開けてフットランプが点灯することを確認します。
 3. ドアを閉めて約10秒後、フットランプが消灯することを確認します。
- ・ 異常がなければ、「3. 車両部品の取外し」で取外した部品を取外しと逆の手順で取付けます。

6. 取付け作業後の確認事項

「5. 作動確認」で異常がなければ、下記の作業を行ってください。

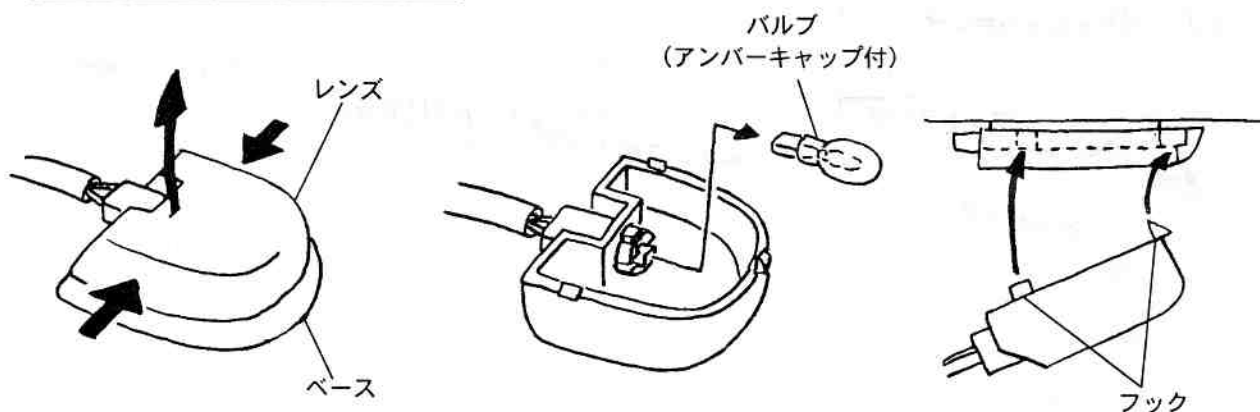
⚠ 注意

- バッテリーとの接続が断たれると、DSC表示灯が作動なくなります。
（このときDSC OFF表示灯が点滅し、TCS/DSC作動表示灯が点灯します）
DSCを作動可能な状態にするために、次の操作を行ってください。
1. エンジンスイッチをONの位置にします。
 2. ハンドルを右いっぱいまで回し、その後左いっぱいまで回します。
 3. DSC OFF表示灯が消灯することを確認します。
 4. エンジンスイッチをOFFの位置にし、再度ONの位置にします。
 5. TCS/DSC作動表示灯が消灯することを確認します。
エンジンスイッチをONの位置にした後でもTCS/DSC作動表示灯およびDSC OFF表示灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。

⚠ 注意

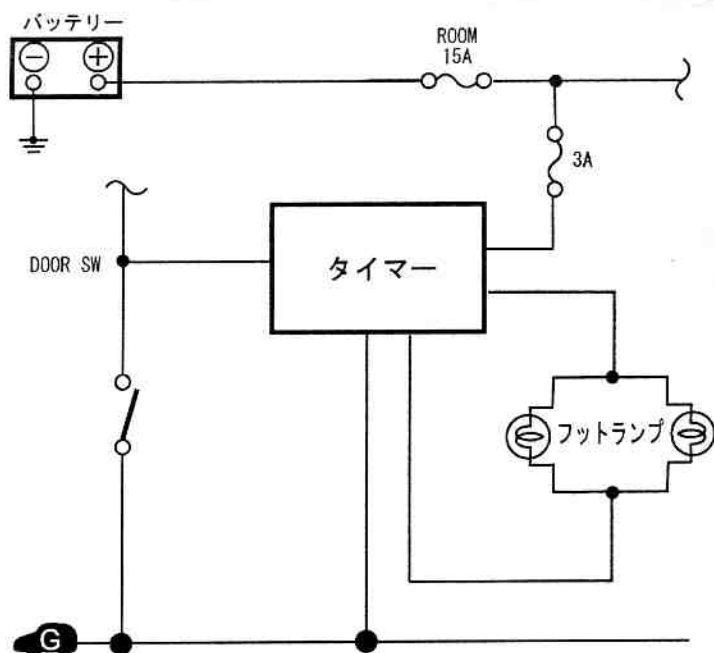
- バッテリーとの接続が断たれると、パワーウィンドウが自動で全開全閉できなくなります。
次の操作で復旧させてください。
1. エンジンスイッチをONの位置にします。
 2. スイッチを押して窓ガラスを全開にします。
 3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げつづけます。

7. バルブ交換方法



1. フットランプのレンズを両側から押しながら取外します。
2. バルブを引き抜き取外します。
3. 交換バルブを差し込みます。
4. レンズの先端をフックから先にベースの穴にセットし、レンズを取付けます。

8. 回路図



架装点検シート

RX-8

フットランプ

F151 V7 050

△ 注意

- 車両部品の復元に際して、汚れのチェックをしてください。
万一汚れがあった場合は洗浄してください。

チェック欄

A. 作業完了後の点検事項

- 取付けた部品及び取外した部品の復元後の点検を下記の項目について行ってください。

点 検 部 品	点 検 項 目 (○ 印)			
	隙、折合い	傷、汚れ、 ハーネスの干渉	取付け、締付け、 かん合	各モードの機能
フットランプ	○	○	○	○
グローブボックス	○	○	○	
フットレスト	○	○	○	
インナースカッフプレート (左右)	○	○	○	
フロントサイドトリム (左右)	○	○	○	
エンジンカバー		○	○	
バッテリーカバー		○	○	
D S C O F F 表示灯				○
パワーウインドウオート機能				○

B. 重点チェック項目

No.	項目	チェック欄
1	取付け部品、及び取外した部品の復元した際、アクセルペダル、ブレーキペダル等の可動部に干渉していないか、各可動部を動かして確認してください。	
2	車両の既存機能が正常に作動するか確認してください。	

日付け	年	月	日
車体No.			
責任者	チーフ	担当者	

※架装点検シートの保存期間：3か月